<u>LiRAS™ for LiPA HLA v6.0</u> <u>INNO-LiPA解析マニュアル</u>





目次

注意事項	3
画面説明	4
1.ログオン方法	5
2.判定方法	7
3.解析方法	8
共通操作	8
各キットで使用するプローブ	10
4.レポート作成方法	12
5.データベースバックアップ方法	15
6.トラブルシューティング	17
パスワードを忘れてしまった場合	17
パスワードの有効期限を変更する場合	18
以前使用していたパスワードを使用したい場合	19
Multi User Errorが表示されてログインできない場合	20

注意事項

● LiRASTM for LiPA HLAにインストールに必要なPC環境は以下の通りです。

OS	Windows XP、Windows 7
CPU	1 GHz 以上
ハードディスク空き容量	500MB 以上(2 GB 以上を推奨)
RAM	2 GB 以上
解像度	800×600 ピクセル以上

- ▶ LiRASTM for LiPA HLA をインストールする前に、Firebird®v2.1.3 (1ページ参照)、LiRASTM Backup/Restoreをインストール必要があります。
- LiRAS は、Firebird データベースを使用しますが、Interbase database がインストールされている環境では同時に動きません。LiRAS をインストールする PC は Interbase database がインストールされていないものをお選び下さい。
- ▶ LiRASTM for LiPA HLA をインストール後、バグ修正の為に「XProfiBlot_V1_33」を必ずインストールして下さい。
- ▶ インストール場所は、ローカルドライブです。(ネットワークドライブは不可です。)
- ▶ インストール方法の詳細は、別紙インストールマニュアルをご参照下さい。
- セキュリティーを確保するために、LiRAS をログオンした状態で PC を離れないで下さい。
- データベースは定期的にバックアップを行ってください。データベースのサイズは最大で 4096MB までです。
- データベースの復元中に LiRAS を起動させないで下さい。LiRAS を起動させている間は、バック アップを行わないで下さい。
- データベースのバックアップ、復元を行う場合は、全てのバックアップファイルが選択されている 事を確認してください。

画面説明

🐍 Liras?	for LiPA	HLA V6.0	0		-	a seaso	1.00	-	-			
<u>G</u> eneral	<u>B</u> rowser	<u>A</u> dmin	<u>N</u> ew Te	st <u>H</u> elp								
🛛 🗟	1 🔊 🚳	<u>ଲ</u> ୍ଗ ୯	😼 ö			B !	🧶 🛛 💇	2	2	&		e

アイコン	<u>名称</u>	<u>説明</u>
	システム設定	各種設定の変更
B	バックアップ確認	データベースのバックアップ状況の確認
	ユーザー設定	ユーザー設定の変更、新規ユーザーの登録
6	スキャナ設定	スキャナの設定、キャリブレーション等
	データ変更履歴確認	データベース内で変更のあったデータの履歴の確認
G	更新	画面上のデータリストの更新
3	データ編集	データリストで選択されている解析済みデータの編集
5	データ削除	データリストで選択されている解析済みデータの削除
	レポート	データリストで選択されている解析済みデータのレポート作成
<i>8</i> %	データ検索	様々な条件でのデータの検索表示
₽↓↑	ソーティング	様々な条件でのデータの並べ替え表示
	フィルター適用	現在設定されているフィルターの設定・解除
	フィルター設定	フィルターの条件の編集、登録
۲	ヘルプ	ヘルプの表示
2	署名者設定	各テストの署名者の設定、編集
2	データサブミット	解析後のデータをサブミットの状態にする
Z	データレビュー	サブミットの状態にあるデータの確認、承認
Ŷ	患者情報設定	患者情報の編集、新規登録
8	医師情報設定	医師情報の編集、新規登録
	ロジカルテンプレート	シート作成用のロジカルテンプレートの編集、作成
	シート設定	シートの作成、編集、スキャンの開始
E	ワークリスト設定	ワークリストの編集、作成、エクスポート等
6	エクスポート	テストデータのエクスポート

1.ログオン方法

- 1. LiRAS HLA6.0 のアイコンをクリックします。
- 2. Name は自動的に SYSDBA と表示されます。ご自身で設定したパスワードを入力してログオンします。

Login		
<u>N</u> ame:	SYSDBA	<u>0</u> K
Password:	*****	<u>C</u> ancel

*初めてログオンする場合

1. Name は SYSDBA で、パスワードは空のまま OK を押します。

Login	
Name: SYSDBA	<u>0</u> K
Password:	<u>C</u> ancel

2. 下記の画面が表示されます。

OLD は空欄のまま、New、Confirm にご自身が設定しようとしているパスワードを入力します。

C	hange Passwo	rd	_
	Login Name:	SYSDBA	
	Name:	System Administrator	
	Password		
	<u>0</u> ld:		
	<u>N</u> ew:	*****	
	<u>C</u> onfirm New:	жжжж	
		<u> </u>	

3. 初回起動画面

🔃 LiRAS? for LiPA HL	A V6.00					
General Browser Admin	New Test Help					
S 🗟 🛯 🗐 🍝 🕵 🗍	୯ 😽 🍹 🗎 👫 🖽	🛯 D! 🔌 🖉 🖻	🖉 🛉 🛠 🖺 🗎	🟥 🛍		
Sample ID	Rev Test	Creation 🗸	Last Update 🔻	User	Patient	Patient Code
<u>></u>						
<						>
Revision	Test Info Interpretation					
No info			No info	available		
available						
) selected Filter: None	👌 System Administrator

*ログイン中に別のユーザーでログインする場合

1. メニューバーから General→User→Switch User を選択します。

🐍 LiRAS? for	r LiPA I	HLA V6.0	0								
General Bro	owser	Admin	New Test	Help							
User	•	Swite	h User	1	21 📑 🖪	! 🧶	💇 💈	2	8 🗉		1
Toolbars		Chang	je Password			Creation		Last U	pdate	User	
Logout											

2. 登録している別のNameとパスワードを入力して OK を選択します。

Login	_
Name: SYSDBA	<u>0</u> K
Password:	<u>C</u> ancel

下記の場合は、第7章トラブルシューティングをご覧下さい。

*パスワードを忘れてしまった場合 *パスワードの有効期限を変更する場合 *以前使用していたパスワードを使用したい場合

2.判定方法

- 各コントロールが問題なく 反応している事を確認します。
- Reading card で、各ストリップの 陽性プローブの番号を照合し、記録しま す。判定が難しいものもひとまず 記録しておきます。
- 解析ソフト LiRAS で陽性プローブ情報 を入力して、自動判定を行います。(次 章参照。)
- 4. 日本人検体の場合、早見表を用いて、自動判定の結果を確認します。



*判定に迷った場合 Typing Table でのプローブ特性の確認が可能です。

- 1. LiRAS を起動、Adimin > LiPA HLA > Typing Table を選択します。
- 2. 使用したキットの最新の Typing Table を選択すると、下記の画面が表示されます。
- 3. 特定のアリルで、偽陰性、偽陽性となる可能性のあるプローブの情報が確認できます。
- 4. 青色は、偽陽性、赤色は、偽陰性

Typing Table

Allele Name (LiPA HLA-A Update)	1	2	3	4	1	5	6	7	8	9	10 1	1 12	13	14	15	16 1	17 1	8 1	9 20	21	22	23	24	25 2	26 27	7 28	29	30	31	32	33	34	35 3	36 37	7 3	38 39	3 40	D 41	42	43	44
A*29:21									8		10	12			15							23	24	2	26	28	29	1				34		37	7	8				43	
A*29:22									8		10	12			15					21				2	26	28	29	1				34		37	7 3	8				43	
A*29:23									8		10	12			15							23	24	2	26	28	29	1				34		37	7 3	8				43	
A*29:24									8		10	12			15							23	24	2	26		29	1				34		37	7					43	
A*29:25									8		10	12			15							23	24	2	26	28	29	1				34		37	7 3	8				43	
A*29:26									8		10	12			15							23	24	2	26	28	29	1				34		37	7 3	8				43	
A*29:27									8		10	12			15							23	24	2	26	28	29	1				34		37	7 3	8				43	
A*29:28									8		10	12			15							23	24	2	26		29	1				34			3	38				43	
A*29:29									8		10	12			15							23	24	2	26	28	29	1				34		37	7 3	8				43	
A*29:30									8		10				15							23	24	2	26	28	29	1				34		37	7 3	8				43	
A*29:31									8		10	12			15							23	24	2	26	28	29	1						37	7 3	8				43	
A*30:01:01				4	1	5			8			12				1	17						24	2	26	28								37	7 3	8				43	
A*30:01:02				4	1	5			8			12				1	17						24	2	26	28								37	7 3	8				43	
A*30:01:03				4	Ę	5			8			12				1	17						24	2	26	28								37	7 3	8				43	
A*30:01:04				4	Ę	5			8			12				1	17						24	2	26	28								37	7 3	8				43	
A*30:01:05				4	Ę	5			8			12				1	17						24	2	26	28								37	7 3	8				43	
A*30:02:01				4	Ę	5			8					14									24	2	26	28							3	36 37	7 3	8				43	
A*30:02:02				4	Ę	5			8					14									24	2	26	28							3	36 37	7 3	8				43	
A*30:02:03				4					8					14									24	2	26	28							3	36 37	7 3	8				43	
A*30:02:04				4	Ę	5			8					14									24	2	26	28							3	36 37	7 3	8				43	
4×30-02-05				4	1	5			8					14									24	2	26	28							3	36	T					43	

3.解析方法

共通操作

1. 「New Test」→「Manual Entry」→解析するキットをお選びください。*(例:LiPA HLA-A Update)

🐍 LIRAS? for LIPA HLA V6.0	0			the second se
<u>G</u> eneral <u>B</u> rowser <u>A</u> dmin	<u>N</u> ew Test <u>H</u> elp			
🔀 🗟 🕵 🥌 🧶 ୯ Sample ID ⊤ F	Manual Entry Scanning) <mark>∦ ⊔</mark>) ∦ ⊔ ∦ ⊔	PA HLA-A Update PA HLA-B Update Plus PA HLA-C	V E I E E
		家 い 家 い 家 い 家 い	PA HLA-DPB PA HLA-DQB1 Update PA HLA-DRB PA HLA-DQA1	

2. 下記画面で、陽性と判断したストリップをクリックします。クリックすると黒くなります。取り消す場合はもう一度 ストリップをクリックします。その他オプションで様々な情報が入力できます。

● Ente ① サンプル名(日付_番号) ②患者情 LiPA HL ① ①	報入力欄
Sample ID: 20120607_0001 Patient: not suppl	
Work List: not supplied Physician: not suppl	ied
Comment: not supplied	
Strips 陽性バンドをクリック(プローブ1) (黒く表示されます)	
" LIPA HLA-A Update Strip I (now strip)	I II
3	ット番号入力欄
Assay Date: 2012/06/07 Lot Number: not s	upplied
Sheet ID: 陽性バンドをクリック(プローブ2)	
× LiPA HLA-A Update Strip 2 (new strip)	
Assav Date: 2012/06/07 Lot Number: not s	upplied
Sheet ID: not supplied Sheet Position: 0	
Probe: Probe List: 2,4,6,11,14,15,16,21,22,23,28,29,32,3	3,39,41,43
Continuous Mode ④続けて解析する場合クリック OK	Cancel

- ① Sample ID:半角英数字で自由に変更可能。入力欄へ直接入力可能
- 2 Patient
 - 1) 入力欄の隣の... ボタンをクリック
 - レポートに反映させたい Patient を選び、Select を押します。
 新しく患者情報を登録したい場合は、New ボタンをクリックし、必要情報を入力します。
 デフォルトの設定では、レポートには Patient Code(数字)のみが反映されます。





- ③ Lot Number:直接入力可能です。以前にロットを入力していた場合は、...ボタンより、希望のロットを選択する事も可能です。
- ④ Continuous Mode:連続して同じローカスを解析したい場合は、こちらのチェックボックスにチェックを 入れます。続けて次の検体の解析が出来ます。

各キットで使用するプローブ

- INNO-LiPA HLA-A Update プライマーは mutiplex primer 1 種類で Exon1-4を増幅します。プローブは下記 2 種類があります。 プローブ 1:Strip # 1-20 (HLA-A exon1-2) プローブ 2:Strip # 21-44 (HLA-A exon3-4)
- INNO-LiPA HLA-B Update Plus プライマーは mutiplex primer と、Bw4 primer の2種類がありますが、通常は mutiplex primer を使用して、exon2-4を増幅します。プローブは下記の2種類があります。 プローブ1:Strip# 2-35 (HLA-B exon2) プローブ2:Strip# 36-67 (HLA-B exon3-4)

解析結果でアンビギュイティ(あいまいさ)が見られ、LiRAS でメッセージが出た場合のみ、Bw4 Primer、と、プローブ2を用いて再検査する事でアンビギュイティが減少します。

- INNO-LiPA HLA-C プライマーは mutiplex primer 1 種類で、プローブも下記の1種類です。 プローブ 1:Strip # 1-28 (HLA-C exon2-3)
- INNO-LiPA HLA-DRB1 Plus プライマーは mutiplex primer と、DRB1*03,11,13,14 primer の2種類がありますが、通常は にして、こことは、こことは、DRB1*03,11,13,14 primer の2種類がありますが、通常は

mutiplex primer を使用して、exon2を増幅します。プローブは下記の1種類です。 プローブ 1: Strip# 1-37(HLA-DRB1 exon2)

- 1) New test > Manual Entry > を選択します。
- 2) 下記の画面から使用したプライマーのタブを選択し、必要な情報を入力します。DRB1を解析す る場合、Strip1のみバンドを入力します。(Strip2は空欄のままで解析可能です。)

员 Enter a	new Test				E	
LiPA HLA-D	RB					
<u>S</u> ample ID:	20120620_0003			P <u>a</u> tient:	not supplied	
Work List:	not supplied			Physician:	not supplied	
Comment:	not supplied					
DRB1+3+4+5 DRB1 86V 86G DRB1*03/11/13/14						

解析結果でアンビギュイティ(あいまいさ)が見られ、LiRAS でメッセージが出た場合のみ、 DRB1*03,11,13,14 primer と、プローブ 1 を使用して再度検査する事でアンビギュイティが減少しま す。

> INNO-LiPA HLA-DRB Decoder

プライマーは DRB1+3+4+5 primer、DRB1 primer、86G primer、86V primer の4 種類がありま すが、通常は DRB1+3+4+5 primer を使用して、DRB1,3,4,5の exon2 を増幅します。プローブは 下記の2 種類です。

プローブ 1: Strip # 1-37 (HLA-DRB1,3,4,5 exon2)

プローブ 2:Strip # 38-62 (HLA-DRB1,3,4,5 exon2)

解析は、INNO-LiPA HLA-DRB1 Plus と同様に、使用したプライマーのタブを選択して入力します。

解析結果でアンビギュイティ(あいまいさ)が見られ、LiRAS でメッセージが出た場合のみ、DRB1 primer、86G primer、86Vプライマーのいずれかまたは複数と、プローブ1を使用して再度検査する 事でアンビギュイティが減少します。(どのプライマーを使用するかは LiRAS で自動的に推奨されます。)

3. 解析が終了すると、ホーム画面に解析した結果が表示されます。Interpretation タブをクリックすると、解析結果の詳細が表示されます。

Test Info Interpretation Advice Test Review
Interpretation Result Virtual Summary General Info
Result
Remarks
• 3 "virtual" cases four ① プローブの反応パターン verify the virtual summary and details for more information.
Probe Reactivity Pattern
(DRB1) 11,15,20,26,30,31,36,37
Allele Group Typing
DRB1*04, DRB1*15 ~~ (2)2 桁レベルでのタイビング結果の表示
Detailed Typing (9 combination(s) found)
DRB1*04(1) DRB1*15(1) ~= ③可能性のあるアリルペアのコード表示
DRB1*04(1) DRB1*15:AB
DRB1*04 ⁽¹⁾ DRB1*15:AYXA
DRB1*04:59 DRB1*15 ⁽¹⁾
DRB1*04:59 DRB1*15:AB
DRB1*04:59 DRB1*15:4/XA
DRB1*04(3) DRB1*15:AYXA
NMDP Allele Codes:
DRB1*15:AB=DRB1*15:01:04/ 15:02:02 /15:02:05 < (4) NMDP コードの表示
DRB1*15:AYXA=DRB1*15:05/15:23/15:31
Combined Allele Codes:
DRB1*04(1)=DRB1*04:03:01/04:03:03/04:03:05/04:03:06/04:03:07/04:06:01/04:06:02/04:07:01/04:07:03/04:07:04/04:20/04:39/04:49/04:50/04:51/04:52/04:05
DRB1*04 ⁽²⁾ =DRB1*04:03:02/04:03:04/04:06:03/04:06:04/04:46 (5) Detailed Typing のアリルコードのアリル表示
DRB1*04(3)=DRB1*04:88/04:93

*NMDPコードは、アメリカの骨髄データバンクで採用されているアリル表記方法です。 (Admin > LiPA HLA > Allele Code Mgt から、NMDPコードのファイルをインポートできます。)

*Allele Codes では、世界的に頻度が高いアリル(common allele)が太字で表示されますが、日本人の頻度とは一致しない場合があります。Common allele は下記の文献を元にしています。

参考文献:

• Common and Well-Documented HLA Alleles: Report of the Ad-Hoc Committee of the American Society for Histocompatibility and Immunogenetics

Pedro Canoa, William Klitzb, Steven J. Mackc, Martin Maiersd, Steven G.E. Marshe, Harriet Noreenf, Elaine F. Reedg, David Senitzerh, Michelle Setterholmd, Anajane Smithi and Marcelo Fernández-Viñaa : Human Immunology 68, 392–417 (2007)

•The Allele Frequency Net Database: <u>http://www.allelefrequencies.net</u>

4.レポート作成方法

1. レポートに出力したいテストを選択します。

3	LIRAS? for LIPA HLA V6.00						
G	<u>G</u> eneral <u>B</u> rowser <u>A</u> dmin <u>N</u> ew Test <u>H</u> elp						
	S2 S2 S2 ≤ S2 C V V II II II II Ø Ø Z Z Z P V II II II II II II II II Ø Ø Z Z Z Z P V II II II II II II II II II II II II I						
	Sample ID	Rev	Test	Creation	Last Update	User	Patient 🗸
Þ	20120621_0001		LiPA HLA-A Update	2012/06/21 13:43:20	2012/06/21 14:50:00	System Administrator	VERITAS TAROU
	20120621_0002	1	LiPA HLA-B Update Plus	2012/06/21 14:57:36	2012/06/21 14:57:54	System Administrator	VERITAS TAROU
	20120621_0003	1	LIPA HLA-C	2012/06/21 15:01:44	2012/06/21 15:01:56	System Administrator	VERITAS TAROU
	20120621_0009	2	LIPA HLA-DRB	2012/06/21 15:39:13	2012/06/21 15:40:32	System Administrator	VERITAS TAROU

2. メインメニューから Browser \rightarrow Report を選択します。

🐍 Liras?	LIRAS? for LIPA HLA V6.00												
<u>G</u> eneral	<u>B</u> rowser	<u>A</u> dmin	<u>N</u> ev	/ Test	<u>H</u> elp								
😖 🗞	C Refres	h	F5	5 🗈	#	ŝ↓î	Ē	B!		2	, 💈	Z	Å
Sample II	🐇 Edit Te	est		est					reatio	n			Last Up
2012062	🚡 Delete	e Test	Del	.iPA HLA	-A Upd	ate		2	012/0)6/21	13:43	:20	2012/0
2012062	Report	t		.iPA HLA	-B Upd	ate P	lus	2	012/0)6/21	14:57	36	2012/0
					-								

3. General タブから、Destination を「On Screen」を選択します。

Report Options	x
General LIPA HLA	
Report Type	
Standard Report	▼
Destination	
[On Screen]▼	
Printer	
Microsoft XPS Document Writer	_
Test Selection	
 Current test 	Revision : 2
C All selected (0 tests)	
C All in filter	
	OK Cancel

4. LiPA HLA タブから、レポートに出力したい情報にチェックを入れ、OK を選択します。

(Report Options					
	General LIPA HLA					
	General	Scan Info				
	Include Patient	🔲 Strip Image				
	Include Physician	🗖 Strip OD Graph				
	Include Work List	🔲 Strip OD Details Table				
	Results					
	🗖 Allele Group Tuping Oplu	Specificities				
		Pattern Specificity				
	Anticipated Results	✓ Probe Specificity List				
	Include Advice	Allele Specificity List				
		OK Cancel				

Include Patient:患者情報が反映されます。

Anticipated Results: 偽反応が見られた場合に、予想される反応パタンとタイピングの結果が表示されます。 Include Advice: タイピング結果に関して、LiRASからのアドバイスが表示されます。 Pattern Specificity: 陽性となったプローブのコドンとその配列情報が表示されます。 Probe Specificity List: 陽性となったプローブの番号と、コドン、配列情報が表示されます。 Allele Specificity List: HLAアリルと、対応するコドン、配列情報が表示されます。

Pattern Specificity (codon:"sequence"):

31:"TTC", 33:"CACCAA", 34:"CAG", 37:"TCC", 43:"GACGTGGGGG", 47:"TTCCDG", 55:"CKGCCTGATGCCGAGTAC", 65:"AAG", 67:"CTCCTGGAG", 69:"GAGCAGAGGCGGGCC", 70:"CAGGCGCGGGCC", 72:"BGGGCCGAGGTGGACAMY"

Probe Specificity (codon: "sequence"):

- 11 : 70:"CAGGCGCGGGCC"
- 15 : 72:"BGGGCCGAGGTGGACAM Y"
- 20 : 69:"GAGCAGAGGCGGGCC"
- 26 : 55:"CKGCCTGATGCCGAGTAC"
- 30 : 43:"GACGTGGGG",47:"TTCCDG"
- 31 : 34:"CAG",37:"TCC"
- 36 : 65:"AAG",67:"CTCCTGGAG"
- 37 : 31:"TTC",33:"CACCAA"

Allele Specificity (Allele Specificity (codon: "sequence"):					
DRB1*04 ⁽¹⁾	: 11:"GTT", 13:"CATGAG", 31:"TTC", 33:"CACCAA", 33:"CACCAAGAG", 37:"TMC", 55:"CKGCCTGATGCCGAGTAC", 65:"AAG", 67:"CTCCTGGAG", 69:"GAGCAGAGGCGGGCC", 72:"BGGGCCGAGGTGGACAM Y", 84:"SGGGTTGTGGAG"					
DRB1*04 ⁽²⁾	: 11:"GTT", 13:"CATGAG", 31:"TTC", 33:"CACCAA", 33:"CACCAAGAG", 37:"TMC", 65:"AAG", 67:"CTCCTGGAG", 69:"GAGCAGAGGCGGGCC", 72:"BGGGCCGAGGTGGACAMY", 84:"SGGGTTGTGGAG"					
DRB1*04:59	: 11:"GTT", 13:"CATGAG", 31:"TTC", 33:"CACCAA", 33:"CACCAAGAG", 37:"TMC", 43:"GACGTGGGG", 47:"TTCCDG", 55:"CKGCCTGATGCCGAGTAC", 65:"AAG", 67:"CTCCTGGAG", 69:"GAGCAGAGGCGGGCC", 72:"BGGGCCGAGGTGGACAM Y", 84:"SGGGTTGTGGAG"					
DRB1*04 ⁽³⁾	: 11:"GTT", 13:"CATGAG", 31:"TTC", 33:"CACCAA", 33:"CACCAAGAG", 37:"TMC", 55:"CKGCCTGATGCCGAGTAC", 69:"GAGCAGAGGCGGGCC", 72:"BGGGCCGAGGTGGACAMY", 84:"SGGGTTGTGGAG"					
DRB1*15 ⁽¹⁾	: 34:"CAG", 36:"GAGTCC", 37:"TCC", 40:"TTC", 43:"GACGTGGGG", 47:"TTCCDG", 70:"CAGGCGCGGGCC", 73:"GCCGCGGTGGACACCTAC", 84:"SGGGTTGTGGAG"					

5. 印刷プレビュー画面が表示されます。

Print Preview		
Preview Zoom		
Print First Prev Nex	xt Last Go To Width 100% Page Two Pages Scroll Zoom	
Patient: 1 (VE RI	ITAS TAROU) Sam ple	ID: 20120621_0009
	INNOGENETICS LIRA	5'
	Line Reader and Analysis Softw	/are ⊧
Assay F	Report - LIPA HLA-DRB Rev	ision 2/2
Test Data Sample ID Entered On Patient Cod User Name Comment	: 20120621_0009 1 : 2012/06/21 (15:40:24) 1e (Name) : 1 (VERTAS TAROU) (Login) : System Administrator (SYSDBA) : not supplied	-
Interpre	etation	
Result		- 1
3 "vir Probe Reac	rtual" cases found considering known false reactivities. Please verify the virtual summary and details for more info ctivity Pattem	rmation.
(DRB1) Allele Grou	11,15,20,26,30,31,36,37 Ip Typing:	
DRB1	1*04, DRB1*15	
Detailed Ty	/ping (9 combination(s) found)	
DRB1*0	04 ⁽¹⁾ DRB1*15 ⁽¹⁾	
DRB1*0	04(*) DRB1*15:AB n4(2) DRB1*15:AB	
DRB1*0	04(1) DRB1*15:AYXA	-
		100% Page 1 of 3 //

6. 出力内容を確認して問題が無ければ、左上の Print アイコンから印刷が可能です。



5.データベースバックアップ方法

注意事項:

- データベースは定期的にバックアップを行ってください。データベースのサイズは最大で 4096MB までです。
- LiRAS を起動させている間は、バックアップを行わないで下さい。

① LiRAS Backup and Restore アイコンをクリックし、Backup を選択します。



② Next を選択します。



(3)



④ パスワード「masterkey」と、入力し Next を選択します。
 (LiRAS のパスワードとは異なりますのでご注意下さい。)

	V 1 CIA	共なりみり	V) (C II		_ v · o
Database Backup V	Vizard				x
2 To Part	Step 2: Ente	er Login Inf	ormation		
The state	Enter the user nar Interbase server.	me and matching	password to lo	igin on the	
	User Name:	SYSDBA			
	Password:				
Contraction of the second	Cancel		<< Back	Nex	t>>

⑤ 保存場所を選択し、Nextを選択します。

Database Backup Wizard							
and the	Step 3: Em	Step 3: Enter File Information					
	Enter a name for on the "Local Se files.	the database to backup. If you perform a backup rver" the zoom buttons allow you to select these					
1/100	Protocol:	Local					
	Server Name:	Local Server					
	Database:	ÅS\LiPA HLA v5\Database\LiRAS.gdb <mark>↓</mark>					
	Cancel	<< Back					

Database Backup Wizard						
2 The	Step 4: Set	Step 4: Set Backup File(s)				
	Select a location than one file by p If you perform a allows you to se	for the backup. You can create backups in more oressing the "More Files" button. backup on the "Local Server" the zoom button lect the destination.				
of the	Path:	C:\ProgramData\LiRAS\LiPA HLA v5\Dat				
3700	# Files:	1 More Files				
	Cancel	<< Back [Finish]				

6.トラブルシューティング

パスワードを忘れてしまった場合

弊社技術営業部(電話:0335933385、メール:<u>techservice@veritastk.co.jp</u>)にお問い合わせ下さい。 パスワードを消去するための exe ファイル(Copy of Firebird Admin)をお送りします。

1. 下記のアイコンをダブルクリックして、実行します。



 LiRAS のデータベースがあるフォルダを選択します。
 (通常)C:¥ProgramData¥LiRAS¥LiPA HLA v6¥Database¥LiRAS.GDB 鍵のアイコンを選択します。



3. 下記の画面が表示されたらパスワードの消去が完了しました。



4. パスワードの消去後は、初回起動時と同様の手順でログイン可能です。

パスワードの有効期限を変更する場合

1. LiRAS を起動します。Admin > System Settings を選択します。



2. User Management > Password Life Time をダブルクリックします。

Refresh Edit Tree Details Image: Details Name Description Value Image: Description Value Value Value Value Image: Description Value Value Value Value Value Image: Description Value Va	System Settings		
LiPA HLA-C Test Module Name Description Value LiPA HLA-DPB Test Module Name Description Value LiPA HLA-DPB Test Module Name Description Value LiPA HLA-DQA1 Test Module Name Description Value LiPA HLA-DQB1 Update Test Module Name Show Last Login Name Show the user name wh Yes Dipatient Management Minimum Password Length Minimum length of a use 5 Password Length Minimum # of different p 0 Patient Management Password Re-use Restriction Minimum # of different p 0 Password Expiration Notification # of days before passw 7 Reporting Scan Plugin Strip Library Intrusion Notification Configuration on how sy Inactive Work List Management Work List Management Vork List Management Vork List Management	C Set it Tree Image: Contract of the set it is an and the set it is an an and the set it is an	Details	
	LiPA HLA-C Test Module LiPA HLA-DPB Test Module LiPA HLA-DPB Test Module LiPA HLA-DQA1 Test Module LiPA HLA-DQB1 Update Test Module Dical Strip Interpretation Optical Strip Interpretation Patient Management Registered Plugins Reporting Scan Plugin Strip Library Test Management Work List Management Work List Management	Name Descrip Solution Max # of the second s	ion Value if login retries 20 ie user name wh Yes in length of a use 5 of days before 9999 in # of different p 0 is before passw 7 ration on how sy Inactive

3. Value を変更します。最大 9999 日まで設定できます。(初期設定は 90 日となっています。)

System Sett	ing Info
Edit Item	
Name:	Password Life Time
Description:	Number of days before a password expires
Value:	9,999
	OK Cancel

以前使用していたパスワードを使用したい場合

1. LiRAS を起動します。Admin > System Settings を選択します。



2. User Management > Password Reuse Restriction をダブルクリックします。

System Settings				
System Settings Browser				
Refresh Edit				
Tree		Details		
- 🗿 LiPA HLA-C Test Module	*	Name	Description	Value
-		😖 Login Retries	Max # of login retries	20
- 1 LIPA HLA-DQA1 Test Module		😖 Show Last Login Name	Show the user name wh	Yes
LPA HLA-DUB1 Update Test Module		Search Minimum Password Length	Minimum length of a use	5
Contract Skip Internetation		Reserved Life Time	Number of days before	9999
Patiant Management		Re-use Restriction	Minimum # of different p	0
Registered Plugins		Service Password Expiration Notification	# of days before passw	7
- Beporting		S Intrusion Notification	Configuration on how sy	Inactive
- 👔 Scan Plugin				
- 1 Strip Library	E			
- Test Management				
User Management				
- Work List Management				
1	· ·	<u> </u>		

3. Value を「0」に変更します。以前使用していたパスワードが何度でも使用できます。

System Setting Info		
Edit Item		
Name:	Password Re-use Restriction	
Description:	Minimum # of different passwords before re-use	
Value:		
	OK Cancel	

1. LiRAS のアイコンを右クリックします。プロパティーを選択します。



- 2. ショートカットタブの、リンク先"C:¥Program Files¥LiRAS¥LiPA HLA v6¥LiRAS.exe"のあとに 「・MultiUser」と入力します。(必ず、半角スペースを入れます。クォーテーションマークの外側に追加 してください。「」は除きます。)
- 3. OK を押します。以上でログインできるようになります。

🔏 LiRAS for LiPA HLA v6.00のプロパティ	
全般 ショートカット	互換性 セキュリティ 詳細 以前のバージョン
LiF	RAS for LiPA HLA v6.00
種類	アプリケーション
場所:	LiPA HLA v6
リンク先(工):	m Files¥LiRAS¥LiPA HLA v6¥LiRAS.exe″ -MultiUser
ショートカット キー(<u>K</u>):	なし
実行時の 大きさ(R):	通常のウィンドウ 🔹
ファイルの場所	を開く(F) アイコンの変更(C) 詳細設定(D)
	OK キャンセル 適用(A)

株式会社ベリタス 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-7-14 八洲ビル TEL 03-3593-3211 FAX 03-3593-3216 技術的なお問い合わせは:TEL 03-3593-3385 E-mail <u>techservice@veritastk.co.jp</u>